

岡田宮

宝永4年(1707) 貝原益軒書

第52号

平成23年11月吉日

発行 岡田宮社務所

郵便番号 806-0063

北九州市八幡西区岡田町1番1号

電話 (093) 621-1898

FAX (093) 621-5330

ホームページ <http://www.okadagu.jp/>

Eメール okadajinja@jcom.home.ne.jp

笑いにみる日本の心

幼な子の無邪気な笑みに接すると、こちらも微笑ましくなり、心がやすらぐような気がします。何もかも忘れ、お腹を抱えて笑った時も、身も心もすっきり、生まれ変わった気分になります。笑いには人々の心を甦えらせる不思議な力があるのかも知れません。

神話にも、天照大御神（あまてらすおおみかみ）が

天岩戸（あまのいわと）にお籠もりになられた折に、天宇受賣命（あめのうずめのみこと）が滑稽な舞を披露され、これを見た八百万の神が笑い、歓喜咲楽（えらぎあそ）んだ事が記され、天照大御神もこの様子を御覧になるために天岩戸からお出ましになったと伝えられています。

芸能の起源もまた天宇受賣命の舞に求められ、芸能の中には、狂言、落語、漫才、漫談など人々の笑いを誘うものも多くあります。

お伊勢さまのお膝元・三重県伊勢の町では、今でもお正月に「笑う門には福来る」の願いをこめて「笑門」の文字が記された注連飾りが、玄関に掲げられます。

またお正月には全国各地で万歳や獅子舞が各家を巡り、笑いを振り撒く行事も続けられ、笑いの効力を尊ぶ先人の智慧が生き続けています。

全国の神社でも、祭典のあとに直会（なおらい）がおこなわれます。神様にお供えした御神饌（みけ・食べ物）や御神酒を参列者全員でいただくという神事の延長にあるものですが、ここでも人々は笑顔で酒を酌み交わし、集団の一員であることを自覚し、和みあい睦みあって協力しながら社会生活をおこなってきました。このように笑いは人々の心を繋ぎ一つにまとめるための重要な役割を担ってきたのです。



目次

笑いにみる日本の心	1
第十七回 岡田神社書道展	2
郷土地名考 52	2
神社なぜなぜ問答 52	3
年末年始の行事案内	4
平成24年の厄年	4

第十七回 岡田神社書道展

会 期 平成23年7月23日(土) ~31日(日)

表彰式 平成23年7月29日(金)

総出品点数 732点



- 岡田宮賞
- 小1 筒井友海
 - 小2 松下真帆
 - 小3 保田結衣
 - 小4 高村陽笑
 - 小5 櫻井里美
 - 小6 古橋郁子
 - 中1 手嶋結香
 - 中2 池田由依

- 総代会長賞
- 小1 山田波奈
 - 小2 武本彩来
 - 小3 彌勒眞緒
 - 小4 鞍成琴音
 - 小5 大瀨綺奈
 - 小6 吉原徳南
 - 中1 長松軒三奈
 - 中2 青木佳穂
 - 中3 茂司亜梨紗

- 小3 松藤花華
- 小3 加地紗彩
- 小3 吉田有沙
- 小3 幸愛実
- 小3 田代美郁里
- 小3 永吉萌
- 小3 倉本凜
- 小3 上田花恋
- 小3 天本文乃
- 小3 杉原希歩
- 小3 兵頭英明
- 小3 鞍成駿
- 小3 長濱実央
- 小3 北川楓弥
- 小3 吉原希美
- 小3 彌勒暉仁
- 小3 池田穂香
- 小3 古川雛子
- 小3 花田千咲季
- 小3 草野美雅
- 小3 吉村紅音
- 小3 徳永胡桃
- 小3 豊岡愛理
- 小3 有松希恵
- 小3 酒見奈央
- 小3 武田雅玖斗
- 小3 河村温
- 小3 梁井恵太

- 小5 廣渡侃樹
- 小5 松岡香歩
- 小5 林 牙佳
- 小5 大道寺真樹
- 小5 中園彩寧
- 小5 石黒愛
- 小5 川原悠里
- 小5 安田将也
- 小5 真鍋那奈子
- 小5 後藤健
- 小5 兵頭茜
- 小5 井上優実
- 小5 森美南
- 小5 水摩梓
- 小5 金崎まどか
- 小5 永吉春香
- 小5 寺野僚佑
- 小5 大久保未来
- 小6 富永海帆
- 小6 藤田裕紀
- 小6 八倉朋美
- 小6 中島彩香
- 小6 小川明莉
- 小6 兵頭賢明
- 小6 梅崎彩華
- 小6 佐々木晴香
- 小6 川崎明日香
- 小6 桑村旺宏
- 小6 安西 絢香
- 小6 中尾磨由子
- 小6 古橋 章子
- 小6 筒井万耶子
- 小6 村中友香
- 小6 赤宗みゆき
- 小6 麻生 祐華
- 小6 笠井 咲希



郷土地名考 52

割子川

割子川にまつわる伝承によると、大内義隆が持っていた宝玉を誤ってこの川に落としたとき、その宝玉が割れずに無事であったので「われん川」と呼称したといわれている。

ちなみに、文化六年(一八〇九)の長崎街道古図には「ハレン川」とみえている。

ところで、この宝玉は「夜光の珠」と呼ばれ、穴生の鷹見神社に奉納されていた。この「夜光の珠」はラムネ玉ほどの水晶玉で、中心部に亀裂状の瑕がのこされている。先年、八幡西市民センターの歴史資料館にも出品されたことがある。



神社 なぜ 問答

(その52)



参拝作法の

起源について

教えて下さい。

私たちが人に対しておじぎをするときは、普通は一度だけですが、神様を拝むときには「二拝二拍手一拝」の作法が用いられます。

この作法は、我が国の伝統的な作法である「兩段再拝」に基づくものです。「兩段再拝」とは、再拝（二度おじぎをする）を二回おこなうことをいいます。実際の作法では、二拝の後に拍手（はくしゅ・かしわで）または祝詞（のりと）奏上をおこな

い、再び二拝をおこなう場合もあります。

拍手については、古くから我が国独自の拝礼作法として、神様や貴人を敬い拝むときに用いられました。平安時代、大陸との交流による影響で、宮中ではこの作法をおこなわなくなり、ただ二拝のみをするようになったことが文献に見えます。しかし、神様を拝む際には変わらず拍手が用いられてきました。

その後、この兩段再拝の作法も各流派や神社によって多少の違いを生じましたが、明治八年に編まれた「神社祭式」に「再拝拍手」という形が「制定され、これを基本に「二拝二拍手一拝」という参拝作法が慣例化しました。

神社によっては、今日でも一社の故実により異なった作法をおこなっているところもあり、伊勢の神宮の神職がおこなう八度拝や出雲大社の四拍手などを例として挙げる事ができます。

参拝の作法

「二拝二拍手一拝」



③ 肩幅程度に両手を開き、二回拍手をします



① 神前に進み姿勢を正す



④ もう一度おじぎをします



② 二回深くおじぎをします

編集部より

神道についての素朴な疑問等を募集しております。本社本庁教学研究部の協力でお答えします。

ご質問は紙面の都合上、基本的な質問に限らせていただきます。質問者の氏名等は掲載いたしません。ご名前、ご連絡先は忘れずお願いします。



北九州市八幡西区岡田町1-44
TEL 093-621-2080

■営業時間 10:00~17:00
■定休日 水曜日

撮影衣装・着付・ヘアメイク無料

¥10,500~

(四切1枚・台紙付)

七五三お出かけレンタル衣装

¥3,150~ (お一人様)

新作ブランド衣装など多数取り揃えております

年末年始の行事案内

大祓おおはらへ

十二月三十一日

大祓とは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

形式に住所、氏名、年令を書き身体をなで息を三度吹き掛け初穂料(お思召し)と共に袋に納めて十二月三十一日までに町内の神社総代か岡田宮社務所迄お届け下さい。

歳旦祭さいたんさい

一月一日

新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにとお願いする神事。

午前〇時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。

開運福引き

一月一日〜三日

一枚五百円でハズレなし。一等は羽根ぶとんなどが当たります。新年の運だめしにどうぞ。

どんど焼祭

一月十五日(日)

古くなったメ縄、門松等を焼納する神事。

地元の有志による餅つき、餅まき、黒崎祇園太鼓、神酒接待、ぜんざい等の諸行事が午前中に奉納されます。

特別祈願祭

一月一日〜七日

新しい年を迎え、家内安全、商売繁昌、厄除開運等の特別祈願を受け付けております。皆様おそろいでお参り下さい。

成人奉告祭

一月九日

新成人のお祓いをします。

人形供養祭

日頃かわいがっていた人形・ぬいぐるみ等、お祓いして供養します。

初穂料・ミカン箱一箱 五千円

巫女奉仕者募集

大神様のお側近くで巫女として仕え、結婚式やお神礼やお守りをお授けする女性奉仕者を募集しています。神様に仕える重要なお務めであり、貴重な体験になるかと思えます。

ご希望の方は神社社務所
電話(621)一八八九八
までお問い合わせ下さい。

奉仕資格 高校生以上
未婚の方

※書類審査・面接が有ります。



できれば髪の長い方希望
茶髪不可(程度によります)

平成二十四年の厄年

(年齢は数え年)

厄年(男)

二十四才	前厄	平成 元 年生
二十五才	大厄	昭和六十三年生
二十六才	後厄	六十二年生
四十一才	前厄	四十七年生
四十二才	大厄	四十六年生
四十三才	後厄	四十五年生
六十才	前厄	二十八年生
六十一才	大厄	二十七年生
六十二才	後厄	二十六年生

厄年(女)

十八才	前厄	平成七年生
十九才	大厄	六年生
二十才	後厄	五年生
三十二才	前厄	昭和五十六年生
三十三才	大厄	五十五年生
三十四才	後厄	五十四年生
三十六才	前厄	五十二年生
三十七才	大厄	五十一年生
三十八才	後厄	五十年生

◆厄年大祭 二月節分日